

コラーゲンペプチド拡大

血糖値 など改善 食品向け世界展開

新田ゼラチン

新田ゼラチンは、「Wellnex」として展開する機能性素材コラーゲンペプチドのブランド力を世界レベルで強化する。生理活性機能に着目した健康や美容効果の研究成果を軸にエビデンスとしてまとめ、高品質、付加価値、安全な素材の認知度を高め食品・飲料向けを中心に普及を加速していく。とくにアジア地域でトップブランドを目指していく。

新田ゼラチンは、ゼラチンを原料に分解して得られるコラーゲンペプチドの事業化に2000年に進出。独自精製技術により高い純度のペプチドを生産し、原料ソースもブタ、魚、ウシ由来と、顧客の利用用途に適した原料が選べる製品を揃えている。

Wellnexは、13年から導入したブランドで、需要が伸びている日本をはじめ、北米や中国を中心にグローバルに強固な事業基盤構築を進める。ブランド強化策を支える戦略として同社が推進するのは、機能性に着目した研究開発による科学的根拠を生かした取り組み。新たな市場として狙うのが、健康関連の

血糖値上昇抑制分野。臨床試験を実施し、糖尿病患者の協力の下、開発中の新規コラーゲンペプチドを1日当たり10g、12週間摂取してもらい、空腹血糖値、糖化指標のHbA1c、インスリン抵抗性、血糖への効果（インスリンの分泌促進効果のあるGLP-1の促進率）などを測定。テキサス

また褥瘡（床ずれ）や関節への効果でも臨床試験によるエビデンスが得られている。とくに褥瘡対応では、昨年改訂の「褥瘡予防・管理ガイドライン」（日本褥瘡学会）の全身管理の栄養管理素材に、コラーゲン加水分解物（コラーゲンペプチド）が追加記載されたことを追い風に、良好なデータを生かし採用提案活動を

積極展開する。美容分野では、従来研

究成果よりも少量の1日当たり3gを目安に効果を調べる臨床試験を実施。30〜57歳の女性対象に12週間の摂取による目尻のシワの減少や頬の保湿度の向上による弾力性とハリの改善を確認した。美容用途は日本で強みを持つが、ブランドイメージを前面に押し出し、中国、北米、東南アジア市場への浸透を図る。